

GAILABO事業紹介



GAILABO
Global AI Innovations Laboratory



弊社御紹介

企業概要

社名 Global AI Innovations Laboratory Co., Ltd. (GAILABO)

設立 2019年10月1日

本社 東京都港区

株主  60%
三井物産株式会社

40%
ソニーネットワーク
コミュニケーションズ
株式会社

事業内容 AIソリューションの開発、運用、販売



主要メンバー



市川 誠
CEO



塩谷 啓二
EVP



ヒマンシュ シェーカル
CTO



目指す姿： 顧客の夢を、テクノロジーで叶えるインフラになる



Sony

先進的なテクノロジー

 **GAILABO**
Global AI Innovations Laboratory

グローバルビジネスの知見



 **MITSUI & CO.**



弊社御紹介

強み

①現場のビジネス知見

お客様の現場課題の解決策を、ビジネスノウハウを生かしてご提案します。

②最先端で高度な技術力















ソニーグループのバックアップを受け、日々新しい技術を追求するエンジニアが高度で確かな技術力をご提供します。

③フレキシブルな対応力

お客様とそのニーズを第一に考え、柔軟性を持ってソリューションのご提案・開発に取り組んでおります。



事例

	取扱いサービス	対象国	対象商品
金融	 クレジットスコア (融資可否)	 ASEAN諸国 (尼,馬,比等)	 4輪向けローン
	 コレクションスコア (回収の優先順位)	 日本	 2輪向けローン
非金融	 需要予測	 チリ	 パーソナル・ローン
		 ペルー	 Buy Now Pay Later
		 オーストラリア	 マルチプロダクト*向けローン <small>*スマートフォン・家電 他</small>
			 建設機械

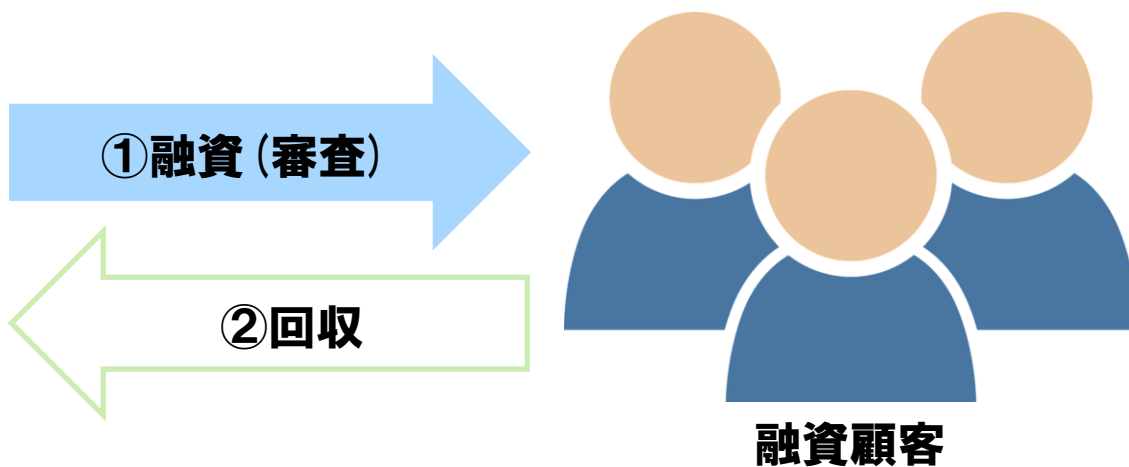


①クレジット
スコア

②コレクション
スコア



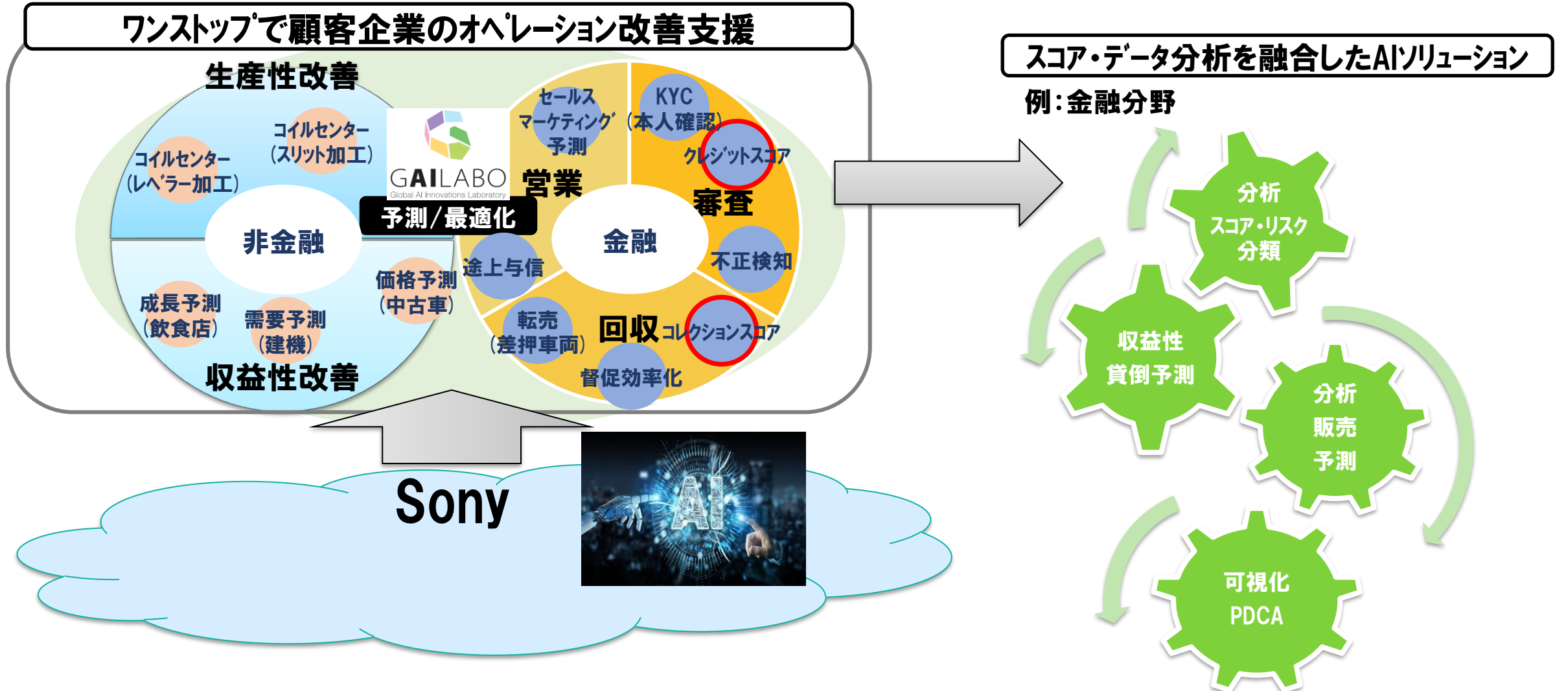
GAILABO
Global AI Innovations Laboratory



- ① クレジットスコアの導入効果
 - > 簡素化 (自動化) による審査プロセス効率化 (与信コスト改善)
 - > 与信精度高度化による将来の貸倒削減 (貸倒償却費改善)
- ② コレクションスコアの導入効果
 - > 優先順位付けによる回収オペレーション効率化 (回収コスト改善)



目指す姿： 顧客の夢を、テクノロジーで叶えるインフラになる



クレジットスコアの御紹介



AI クレジットスコア

<案件概要>



マルチプロダクト*向けローン
*スマートフォン、家電



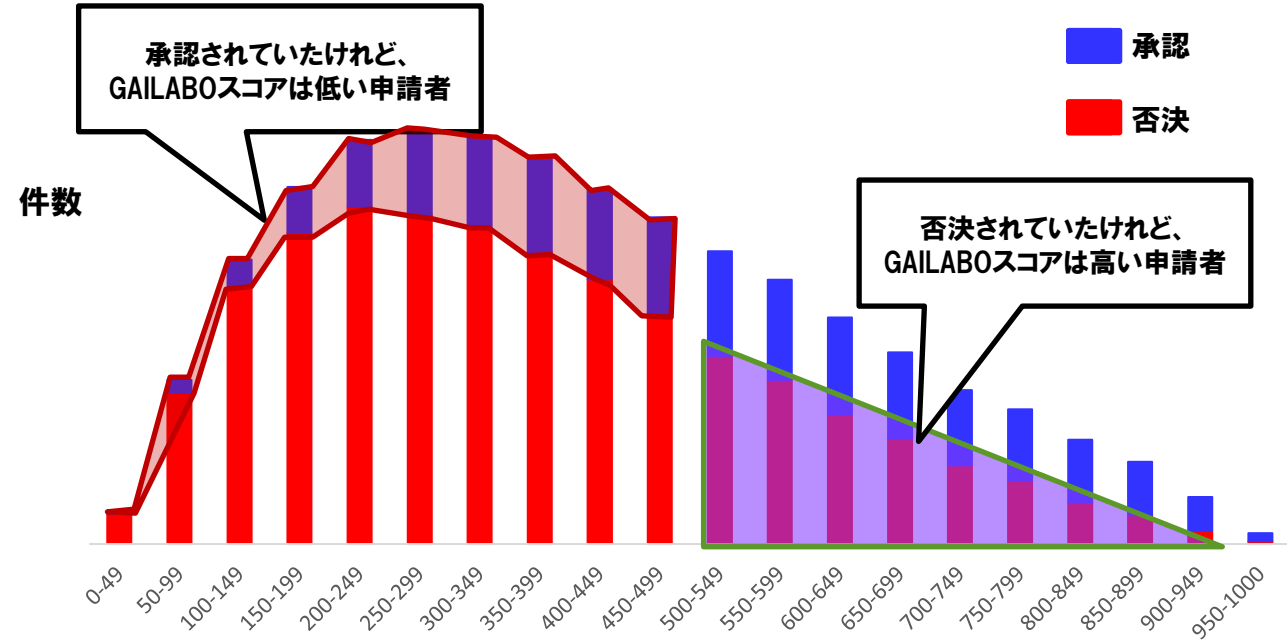
約3~5万円/件

当時のお客様ポートフォリオイメージ

年	月	承認	否決	合計	承認率	回収率
2020	10-12	30,000	70,000	100,000	30%	96%
2021	1-3	29,450	65,550	95,000	31%	97%
	4-6	34,100	75,900	110,000	31%	96%



GAILABOスコア分布



クレジットスコアの御紹介



AI クレジットスコア

<案件概要>



マルチプロダクト*向けローン
*スマートフォン、家電



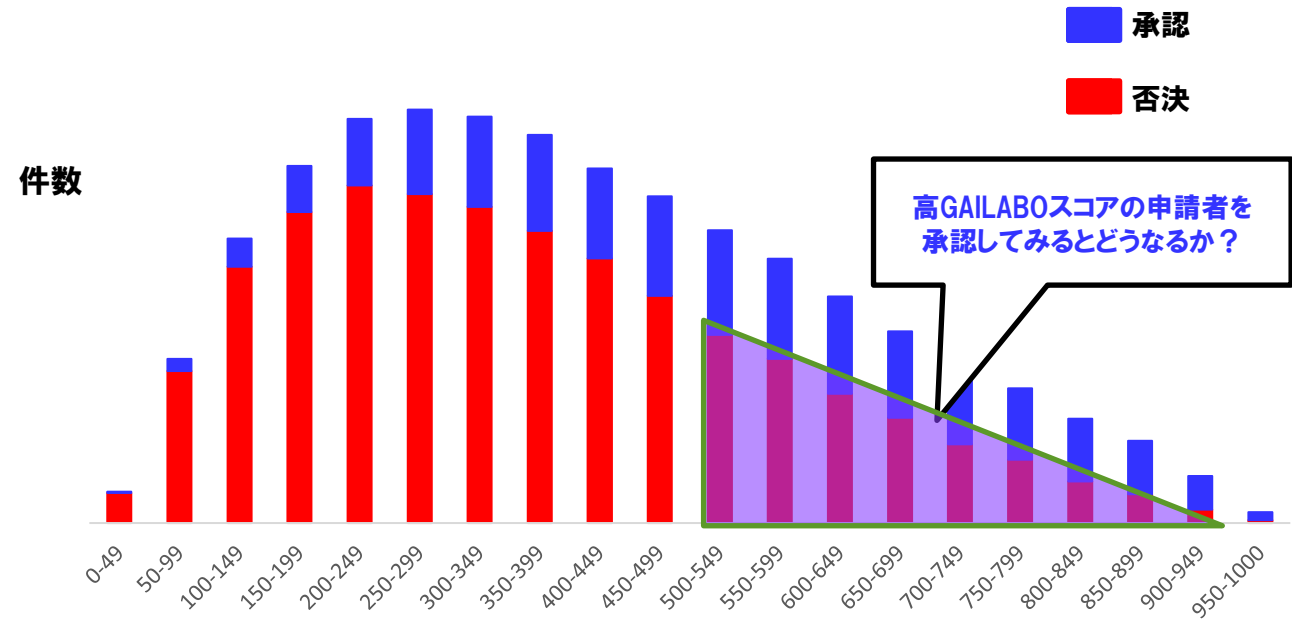
約3~5万円/件

当時のお客様ポートフォリオイメージ

年	月	承認	否決	合計	承認率	回収率
2020	10-12	30,000	70,000	100,000	30%	96%
2021	1-3	29,450	65,550	95,000	31%	97%
	4-6	34,100	75,900	110,000	31%	96%



GAILABOスコア分布



クレジットスコアの御紹介

AI クレジットスコア



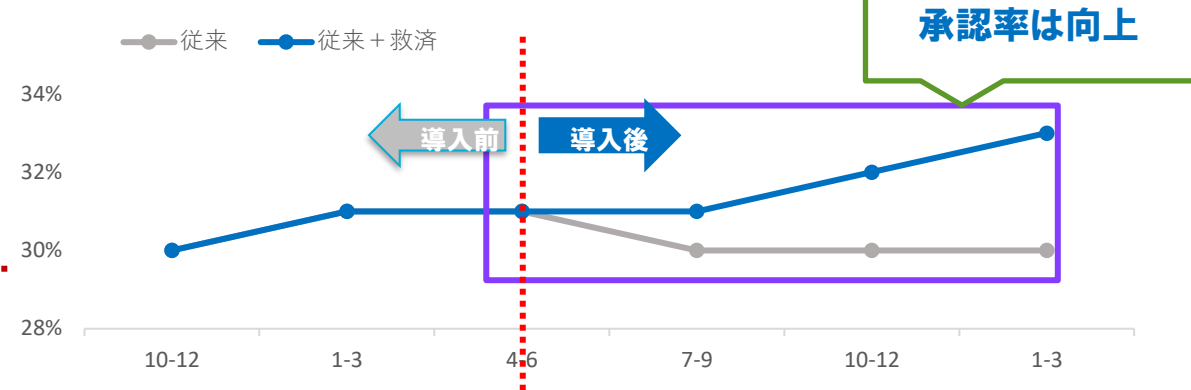
ゴール: 回収率を下げずに承認率を上げること

<GAIABOスコア利用前後のポートフォリオ (人数)>

	年	月	承認		否決	合計 (承認+否決)
			従来	救済		
導入前	2020	10-12	30,000		70,000	100,000
		1-3	29,450		68,400	95,000
	2021	4-6	34,100			110,000
7-9		34,800	1,160		116,000	
導入後	2021	10-12	36,000	2,400	81,600	120,000
		2022	1-3	37,500	3,750	83,750

約7,000件
(3億円)

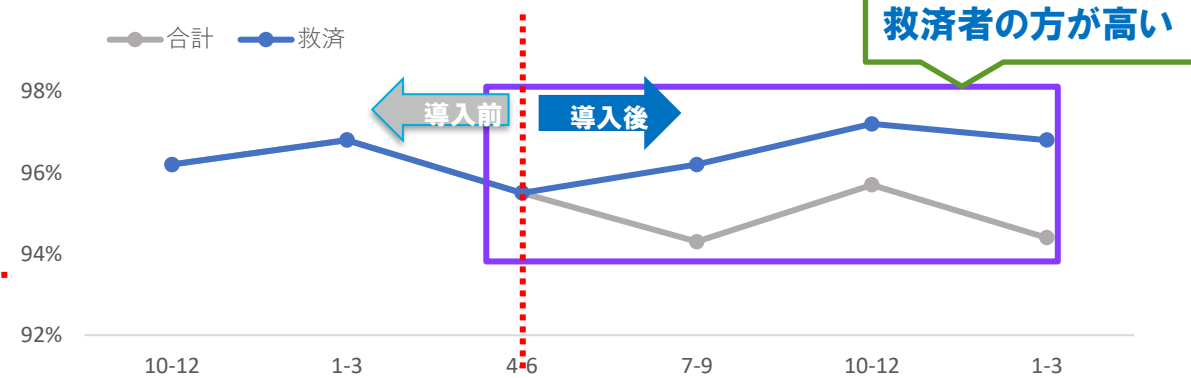
<承認率の推移>



<GAIABOスコア利用前後のポートフォリオ (%)>

	年	月	承認率			回収率	
			従来	従来+救済	差	合計	救済
導入前	2020	10-12	30%	30%		96%	
		1-3	31%	31%		97%	
	2021	4-6	31%	31%		96%	
導入後		7-9	30%	31%	+1%	94%	96%
	2021	10-12	30%	32%	+2%	96%	97%
2022		1-3	30%	33%	+3%	94%	97%

<回収率の推移>



クレジットスコアの御紹介

AI クレジットスコア



AIスコアリングは瞬時に、膨大なデータの中から相関関係を発見

GAILABO社サービス導入前

膨大なデータの関係性を
精緻に読み解くのは困難



GAILABO社サービス導入後

複数の特徴の関係性を読み解き、
リスク度合いを定量化

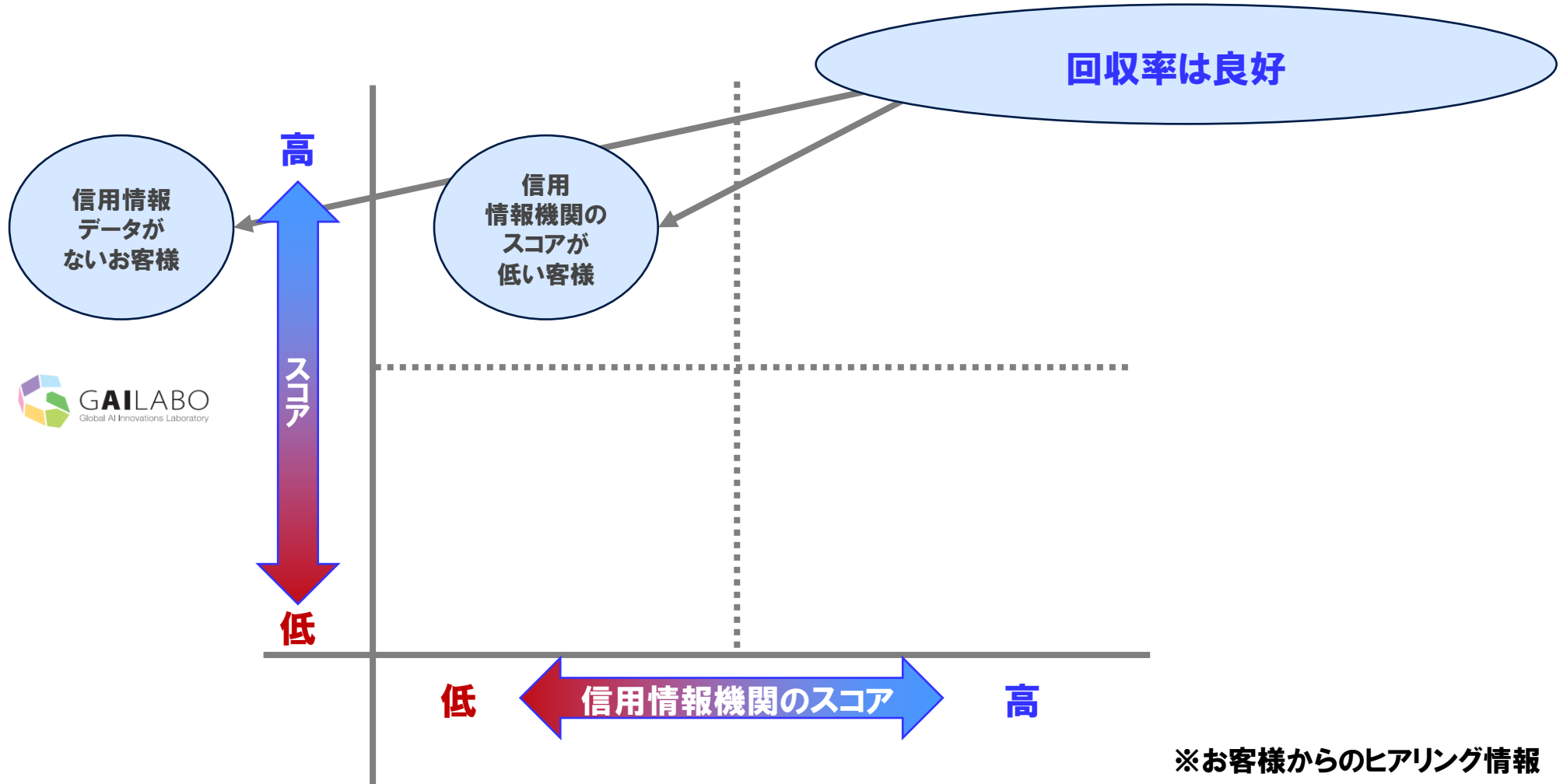


クレジットスコアの御紹介



AI クレジットスコア

GAILABOスコアで救済し、回収率が良好であったお客様の特徴

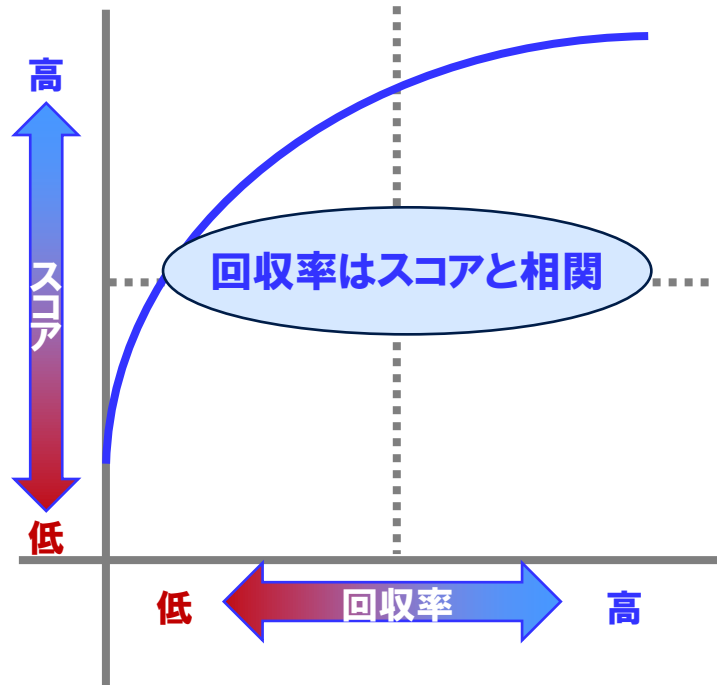


クレジットスコアの御紹介

AI クレジットスコア

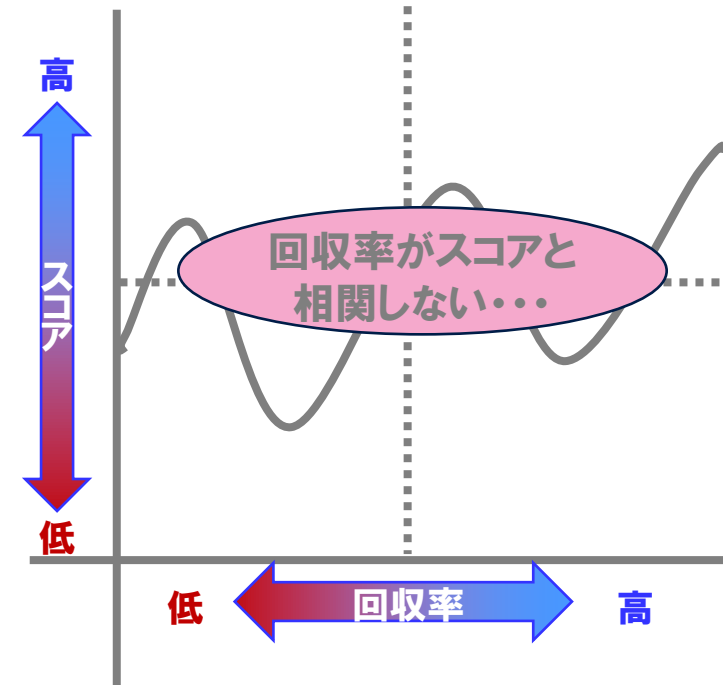


GAILABOスコアは、競合スコアリング会社より精度が高かった



VS

競合某社



※お客様からのヒアリング情報

クレジットスコアの御紹介

AI クレジットスコア



AIクレジットスコアリングの導入により、①審査時間の短縮、②生産性の改善にも貢献

① 審査時間の短縮



平均審査時間/件

導入前 55分

導入後 4分 (-93%)

② 生産性の改善



審査スタッフ数

導入前 50人

導入後 11人 (-78%)

アジアでAIと信
イオン系個人向け審査短縮

イオンフィナンシャルサービス(株)様との戦略的パートナー協業に関する記事

※PT. Aeon Credit Service Indonesia 様の実績より

クレジットスコアの御紹介

ご利用者様の声



PT. AEON Credit Service Indonesia 様



弊社に関するコメント

スコアを切り口にデータ分析を行うことで課題の早期特定化、及び市場の変化に応じた審査基準の調整が容易になった。

AIモデルは複雑だが、自社で細かい点を気にすることなく、日本語、英語で相談することで、我々の課題を確認頂け、モデル開発、現状の問題点の洗い出しなど、スピード感を持って対応頂ける。

GAILABOのメンバーは金融知見、最先端のAI技術を多く有していて、単なるAIスコアリングベンダーやAIツールの提供会社とは異なり、膝詰めで我々の要望をしっかりと聞いて頂ける。また、AIモデルのバージョンアップ、新モデルの構築をスピード感を持って一緒にやって頂ける。

※弊社WEBサイトより抜粋

クレジットスコアの御紹介



その他のお客様の声

A社

非AIのスコアリングでは、変数を10個程度しか活用できていませんでしたが、GAILABO社のAIスコアリングに切り替えることで、30個以上の変数をモデルに反映出来ました。

B社

データが整備されておらず、AIモデル開発に時間を要しましたが、結果的に自社のデータ整備を行うことが出来ました。

C社

アフターフォローとして、データ分析を行って頂く中で、実は社内の運用に不備があり、データ自体が誤っていたことに気付きました。GAILABO社の現場サポートがなければ、気づかなかったと思います。

※お客様からのヒアリング情報

コレクションスコアの御紹介



AI コレクションスコア

GAILABOスコア利用前

契約日



支払履歴

契約後



回収担当者

直近の支払履歴のみを参照し、
優先順位を決める...

GAILABOスコア利用後

契約日



申込データ



支払履歴



信用情報機関
データ



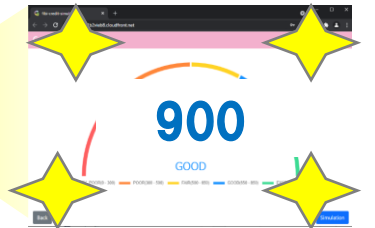
通信・交渉履歴

契約前

契約後



AIモデル



様々な生きたデータを元に、優先順位を
決めることができる

コレクションスコアの御紹介



AI コレクションスコア

チケットサイズ: 10万円/件

GAILABOスコア利用前

遅延なし顧客

合計: 500K



基準	遅延リスク	回収方法
A	安全 250K	SMS
B	中 125K	Remind call
C	高い 125K	Remind call



架電回収対応数

50K 削減



遅延なし顧客

合計: 500K



GAILABOスコア利用後

GAILABO コレクション スコア	遅延リスク	回収方法
950-	安全 100K	SMS
850-950	極めて低い 100K	SMS
750-849	低い 100K	IVR
200-649	中 100K	Remind call
0-199	高い 100K	Remind call

回収率
管理コスト



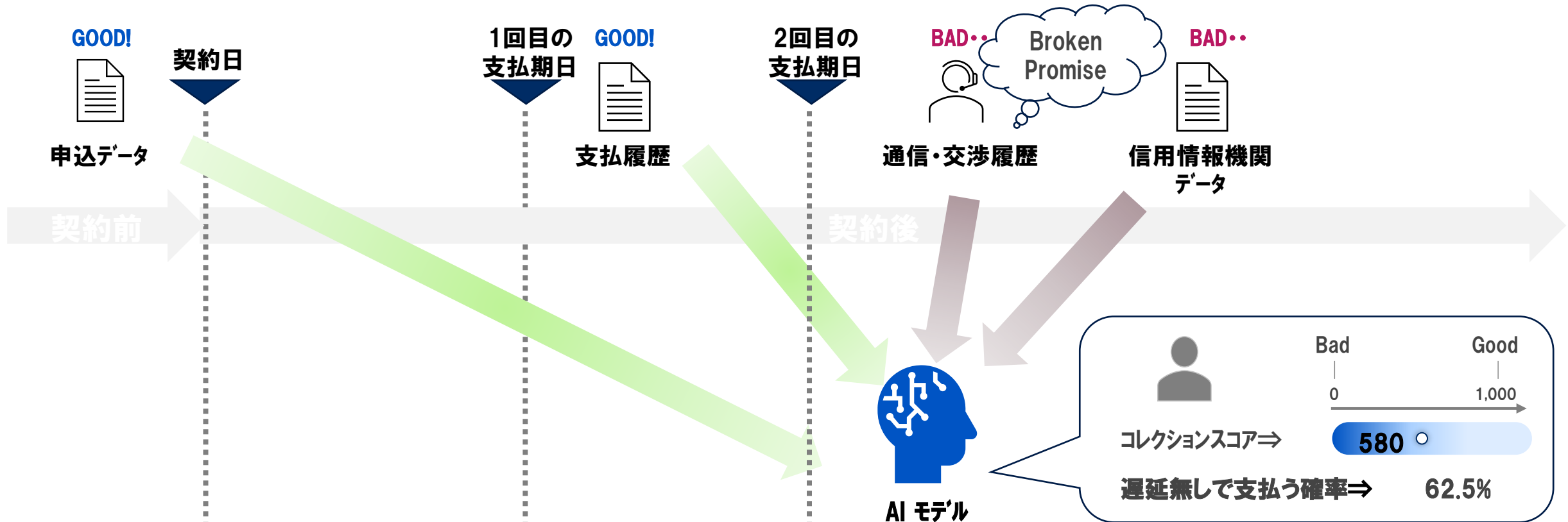
コレクションスコアの御紹介



AI コレクションスコア

日次でスコアを算出可能ゆえ、適格なアクション可能

イメージ



インドネシアにおける現地企業とのコラボレーション



インドネシアにて、現地金融機関向けに基幹システムを提供するベンダー様と販売業務提携契約を締結

信用スコア算出のGAILABO、インドネシアで販路拡大

2023/4/20 19:30 | 日本経済新聞 電子版

AdIns
Advance Innovations



GAILABO
Global AI Innovations Laboratory



GAILABOはインドネシアでAIによる信用スコア算出の販路を広げる

【会社情報】

会社名:PT Adicipta Inovasi Teknologi (AdIns)

本社所在地:インドネシア ジャカルタ

URL:[IT Solution for Your Company – Advance Innovations \(AdIns\) \(ad-ins.com\)](https://ad-ins.com)

概要: インドネシアのノンバンクを中心に基幹システム (CONFINS) を提供しているITソリューションカンパニー。

CONFINSのマーケットシェアは、資産規模10兆IDR超 (約940億円) の金融機関内で69%, 5兆~10兆IDR (約470-940億円) の金融機関向けには55%。(同社WEBサイトより)

人工知能 (AI) による信用スコア算出を手がける「グローバルエーアイノベーションズラボラトリー」(GAILABO、東京・港) がインドネシアで販路を拡大する。現地の金融機関に基幹システムを提供するAdIns社と販売業務の提携で合意した。アジアで個人の信用スコアと与信に使う動きが広がるなか、需要を取り込む。

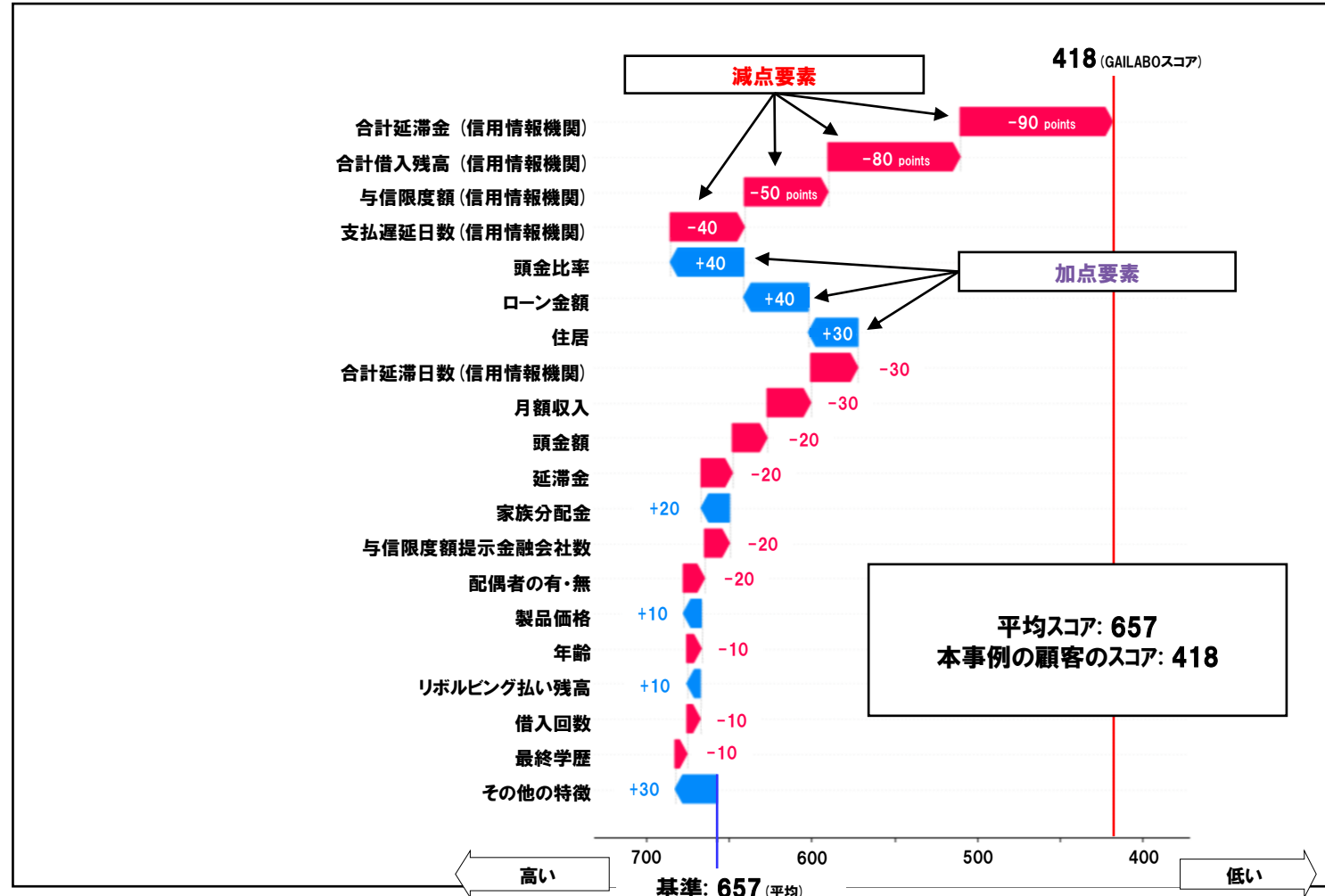
GAILABOは三井物産が6割、ソニーネットワークコミュニケーションズが4割を出資して2019年10月に設立された。年齢や性別といった消費者の属性から信用スコアを算出するサービスを開発し、アジアや南米で金融機関に販売している。海外の現地企業と販売業務で提携するのは今回が初めて。

インドネシアではすでにイオンフィナンシャルサービス (FS) がGAILABOの信用スコアを使って割賦販売でAIによる与信を行っている。現地のノンバンク向けの販路を広げることで信用スコアを活用した与信の需要を掘り起こす。

日本経済新聞電子版 2023年4月20日掲載



XAI (ザイ) 最終スコアへの影響度合いを可視化





クレジットシミュレータ

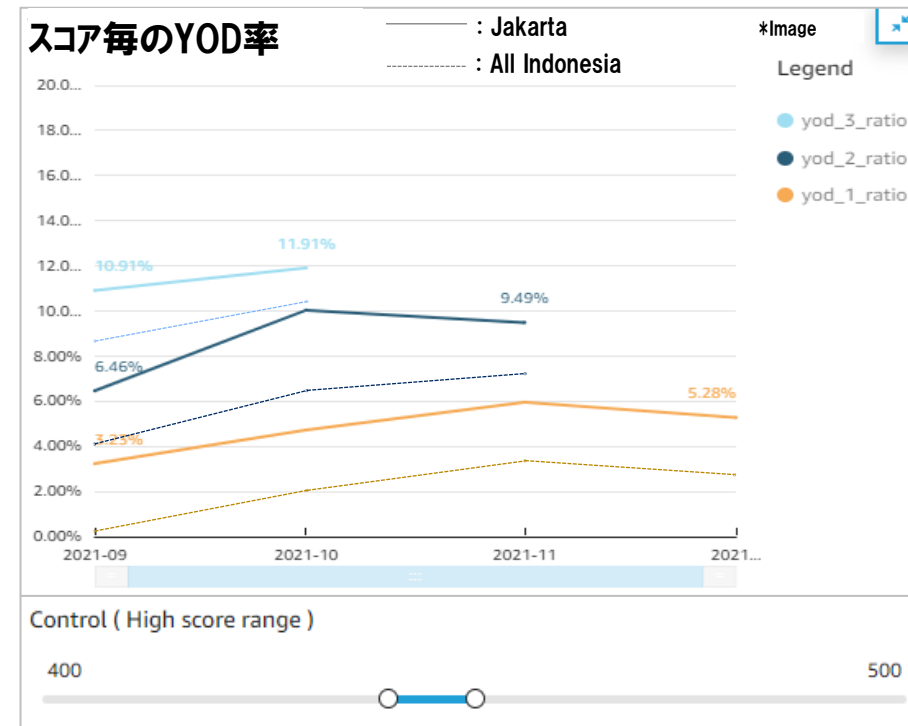
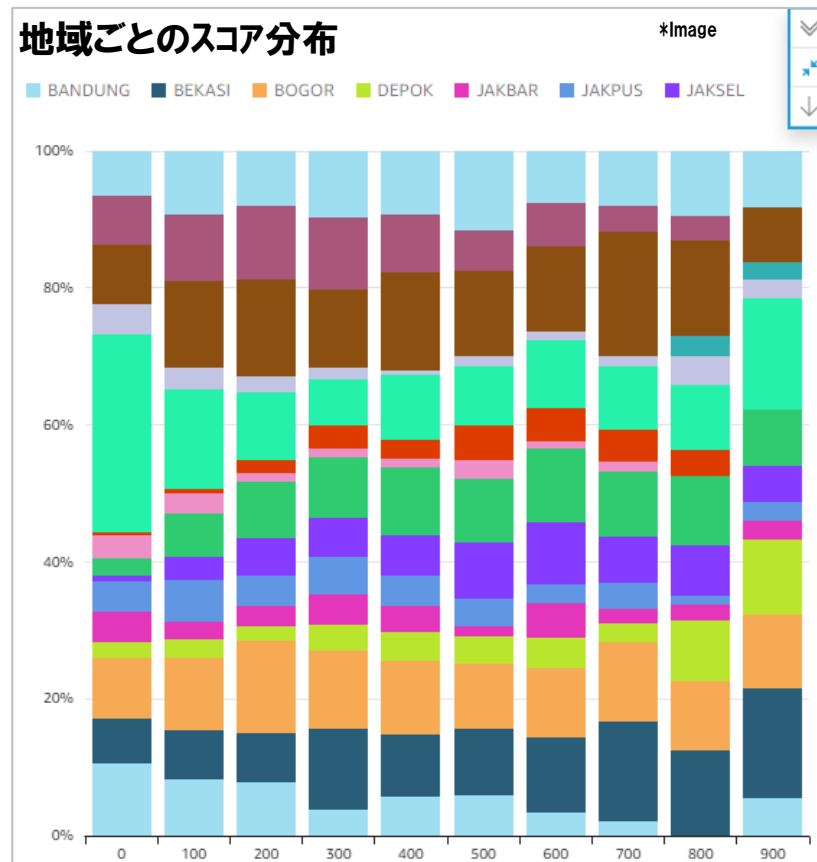
融資基準に満たない顧客を承認する場合の最適な条件の提案が可能





GAILABO BI

あらゆる角度から多面的にKPIを分析可能



* YOD: Young Overdue ratio, 融資後、数カ月間の月賦不払い率

※BIツール紹介動画 URL ↓

[Japanese ver.](#)

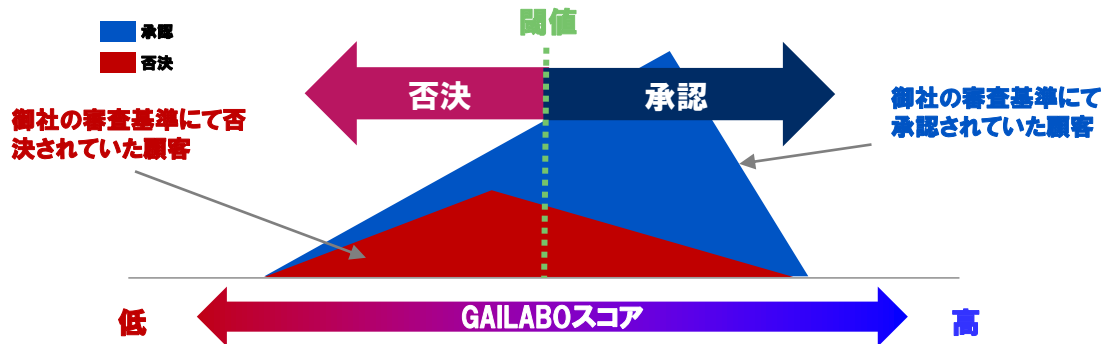
[English ver.](#)

無償PoCレポートのイメージ



無償PoCでは、御社の過去データを基に、収益シミュレーションに加えて様々な分析結果をご提供。

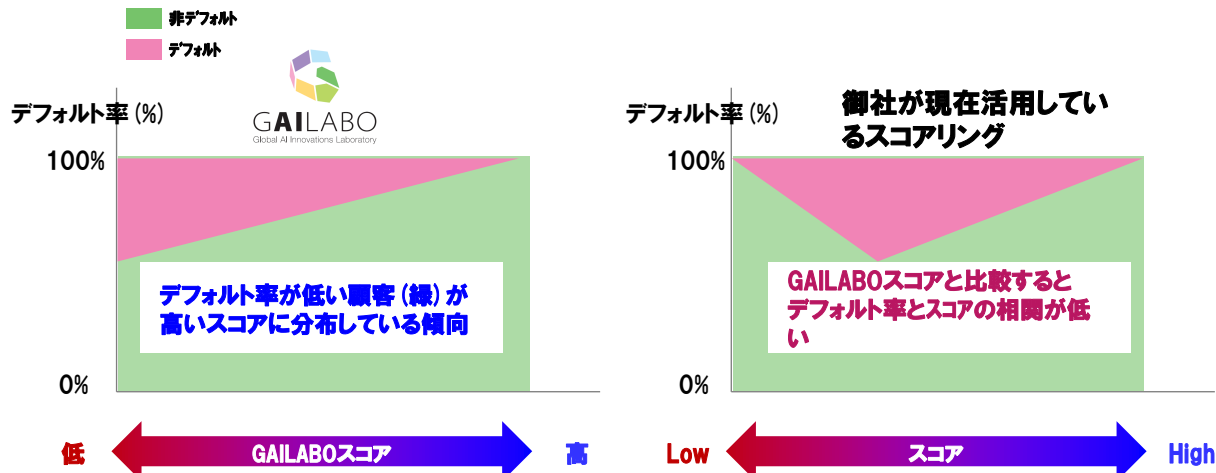
GAILABOスコアの閾値をベースに顧客分析



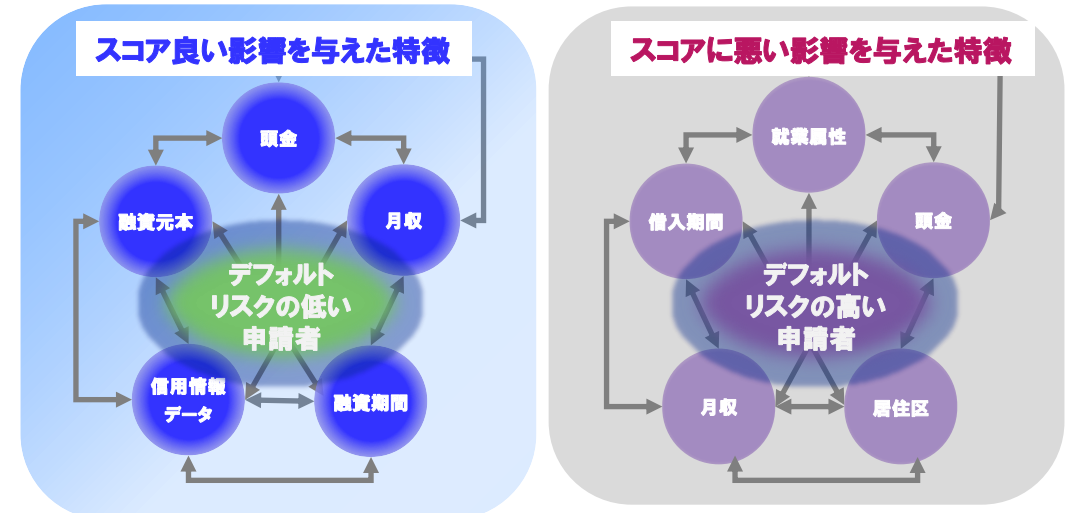
収益シミュレーション

収益シミュレーション	利益貢献額	指標			
		承認率(%) (現状:50%)	利益率 % (現状:30%)	想定 W/O % (現状:10%)	想定デフォルト % (現状:15%)
(1) 既存のデフォルト率を維持“15%” (閾値:300)	+1.9億円 (+25%)	70% (+20%)	40% (+10%)	7% (-3%)	15% (-0%)
(2) 既存の承認率を維持“50%” (閾値:400)	+1.4億円 (+19%)	50% (+0%)	35% (+5%)	5% (-5%)	7% (-8%)


既存スコアとの比較分析



特徴分析





	強み	課題
 GAILABO <small>Global AI Innovations Laboratory</small>	<ul style="list-style-type: none"> プロのAIエンジニアと金融実務経験を持つビジネススタッフが、導入前から導入後までサポート。 AIに特化したスタッフの配置・育成が必要ないため、引継ぎ・異動・離職のリスクなし。 クライアント毎の実務に沿ったカスタマイズモデルの開発が可能。 	<ul style="list-style-type: none"> モデル開発が必要な為、プロジェクトタイムラインが長くなりがち。
オルタナティブデータを活用したスコアリング	<ul style="list-style-type: none"> 複雑なモデル開発を行わずに、サービスを活用することが可能。 モバイルデータや、メタデータなど、オルタナティブデータの活用が可能。 	<ul style="list-style-type: none"> クライアントのデータ(申請情報、支払履歴、信用情報機関のデータ等)を反映していない場合、オルタナティブデータスコアリングだと、精度が低くなってしまう。
パッケージソリューション	<ul style="list-style-type: none"> AI専属のスタッフを配置・育成することで内製化が可能。 短時間でクライアント自身がモデル開発を行うことが可能。 	<ul style="list-style-type: none"> データの準備～開発・導入まで一般的にお客様自身で行う必要あり。 AIに特化したスタッフの配置・育成が必要なため、引継ぎ・異動・離職のリスクあり。 短時間でモデル開発が可能だが、どのモデルを活用すべきか選ぶ必要あり。 標準仕様の範囲内でのモデル開発に留まる。
非AIベースのスコアリング	<ul style="list-style-type: none"> 与信業務の専属スタッフを配置・育成することで内製化が可能。 ルールベースエンジンなので、どの変数がどれだけの影響をスコアに与えているか可視化が可能。 	<ul style="list-style-type: none"> スコアリングモデル開発以外のタスクは基本的にお客様自身で行う必要あり。 パラメーターの調整や、選択はお客様自身で行う必要があるため、システムのアップデートに時間がかかる。 モデル開発に活用できる変数の数が、AIベースに比べて限定的。



GAILABO

Global AI Innovations Laboratory